

ベネズエラ大統領選挙をどう見るか（1）

ベネズエラ大統領選が、20日午前6時から、午後8時まで、有権者数国内及び海外在住有権者20,527,571人により全国14,638カ所の投票所で投票が行われ、開票率92.6%の段階で投票数8,603,336票、投票率（46.1%）でした。結果は、マドゥーロ大統領が得票数5,823,728票（67.7%）、第二位ファルコン氏得票数1,820,552票（21.1%）、第3位ベルトゥッシ氏得票数925,042票、第四位キハーダ氏得票数34,614票を抑えて再選されました。選挙には150名海外選挙監視員がオブザーバーとして参加し、選挙が公正に行われたことを確認しています。

反政府候補者のファルコン氏、ベルトゥッシュ氏とも、いろいろな選挙違反が見られたとして、選挙のやり直しを要求していますが、具体的な証拠に欠け、選挙の公正性を揺るがすものではありません。

厳しい反マドゥーロ国際批判の中で

今回の選挙は、野党勢力、民主団結会議（MUD）の分裂の中で、その主流派が米国の強硬な圧力で選挙戦をボイコットし、米国を初め、それに追随する米州諸国15カ国による執拗な避難、米国が支配する米州機構（OAS）、IMF（国際通貨基金）などの国際機関による批判、異常なマスメディアによるマドゥーロ政権の民主主義批判、選挙が不公正であり選挙結果を認めないというキャンペーン、3年連続の経済後退により国民が生活に大きな不満をもっている中で行われた熾烈な選挙でした。

得票の分析

それは、投票率に現れています。今回の投票数は、860万票、投票率は最終的に50%近いものと推定されますが、従来の大統領選は、いずれも投票率は、70～80%に達しました（下記表を参照）。MUD、つまり反政府勢力の支持票は、従来500～650万票です。これが、今回は半分に分かれ300万票は反政府派の3名の候補者に流れ、300万票は棄権に回りました。と同時にマドゥーロ政権も、支持勢力は、700万票程度と考えられますが、経済困難から100万票程度が支持から離れ、棄権する側に流れ、得票数は600万票でした。

国民は、MUDの暴力的街頭デモ、政府との対話の頑迷な拒否に飽きており、今回のように選挙による民主的な対決を選んだのでした。そしてまた、マドゥーロ政権の一定の経済政策の誤りに対しては、これまでの支持を撤回する態度にでたのでした。マドゥーロ政権は、「独裁体制を強めている」と一般のメディアで批判されますが、この選挙期間中の反対派のマドゥーロ政権への批判は大変厳しいものでした。しかし、その選挙キャンペーンに対する弾圧も、選挙ボイコット勢力に対する弾圧もなく、選挙期間中に死者も出ず、平和裏に選挙が行われとことを見ると「独裁体制を強めている」と、マドゥーロ政権に対する枕言葉のように使われるのは、理解できないことです。

選挙戦から離れていったMUDの過激派

大統領選挙そのものは、本年2月当初には、MUDも与党勢力との対話で、選挙の実施、選挙方法、選挙日程で合意に達していたのですが、最終署名段階で米国の横やりで、MUDが署名しなかったというのが事実です。与党が野党を締め出したのではなく、野党の過激派（正義第一党、大衆意志党など）が、自分たちで選挙戦から出て行ったのです。そのあたりの事情を、元MUDの事務局長のヘスス・トレアルバ氏は、「MUDの幹部は同意しないかもしれないが、ベネズエラを変革するためには、選挙で勝つことが必要である」と訴えています。

しかし、そうしたMUDの過激派のやり方に同意しない、MUDのメンバーであるキリスト教社会党(COPEI)、社会主義運動党(MAS)は、選挙戦で国民の判断を仰ぐという賢明な道を選択したのです。これまで、大統領戦は、チャベスあるいはマドゥーロ対カプリーレスといった左右両派の正面对決で、野党派の他の候補者の得票数は10万を超えるものではなく、まったくの泡沫候補でした。しかし、今回は、非主流反対派に200万、100万票が投票されたのです。ある意味では、ベネズエラは、両極が激しく対立している二極化社会ですが、三極社会となり、今後平和的、民主的対決のあり方がしめされたとも言えます。

(続く)

<表ベネズエラ、国政選挙結果>

	有権者数	投票数	投票率 %	与党得票数	与党得票率 %	野党得票数	野党得票率 %	無効票	無効票率 %
2006	15,787,777	11,790,397	74.69	7,309,080	62.84	4,292,466	36.90	160,245	1.35
2007	16,093,743	8,883,746	55.2	4,379,392	49.29	4,504,352	50.70		
2009	16,652,179	11,710,740	70.32	6,310,482	54.85	5,193,839	45.14	206,419	1.76
2010	17,575,975	11,679,235	66.45	5,442,020	46.60	5,320,175	45.55		
2012	18,606,798	15,010,584	80.67	8,136,964	55.25	6,499,575	44.13	284,899	1.89
2013	18,904,364	14,983,953	79.78	7,575,704	50.78	7,302,648	48.95	66,691	0.44
2018	20,527,571	8,603,336*	46.1	5,823,728	67.7	2,780,208	32.3		

2006: 大統領選: 与党チャベス候補、野党ロサーレス候補他12名、2007: 憲法改正、2009: 憲法改正、2010: 国会議員選挙、2012: 大統領選挙(与党チャベス候補、野党カプリーレス候補他4名)、2013年: 大統領選挙(与党マドゥーロ候補、野党カプリーレス候補他4名)、2018年: 大統領選挙(与党マドゥーロ候補、野党ファルコン候補他2名)。*開票率92.6%

(2018年5月21日 新藤通弘)